

図画工作

図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

授業の工夫

各学年の学習内容

学年	表 現	鑑 賞
1年 2年	<ul style="list-style-type: none">材料を基に身近な材料や用具をつかい、造形遊びをする活動を通して、楽しくつくります。感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動をします。 <p>【土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、小刀類】</p>	<ul style="list-style-type: none">自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ます。感じたことを話したり、友だちの話を聞いたりして形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気づきます。
3年 4年	<ul style="list-style-type: none">材料や場所などを基に造形遊びをする活動を通して、考えながらつくります。感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動をします。 <p>(組み合わせ・切る・つなぐ・形を変える)</p> <p>【木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、のこぎり、金づち】</p>	<ul style="list-style-type: none">自分たちの作品や身近な美術作品や制作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じとります。感じたことや思ったことを話したり、話し合ったりして、表し方や材料による感じの違いなどが分かります。 <p>(自分の見方や感じ方を広げる)</p>
5年 6年	<ul style="list-style-type: none">材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動を通して想像力を働かせてつくります。感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動をします。 <p>(表し方の工夫)</p> <p>【針金、糸のこぎり】</p>	<ul style="list-style-type: none">自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じとりします。感じたことや思ったことを話したり、話し合ったりして、表し方の変化、表現の意図や特徴をとらえます。 <p>(特徴を理解)</p>

楽しい授業の展開

- ・話し合い活動を取り入れ、造形活動への思いをふくらませる。
- ・学習材料を豊富に準備し、自由な造形活動を可能にする。

評価について

一人一人を認め、生かし、伸ばす評価をします。

- 自分の思いをもち、進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとする。
- 感じたことや材料などをもとに、表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。
- 感覚や経験を生かしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。
- 作品などの形や色などから、表現の面白さを感じ取ったりしている。

評価の方法

多面的に、子どもの造形活動を見つめます。

- ・学習の準備
- ・作業中のつぶやきや発言
- ・造形活動への取り組み
- ・自己評価や相互評価
- ・発表会や鑑賞会

保護者の方へ

*用具を整える

クレヨンや絵の具 はさみや接着材 彫刻刀など、必要な用具が完備しているか点検してください。また、記名の確認もお願いします。

*材料を集める



図画工作では、材料集めから始まり、作品の持ち帰りまでご家庭と係わることがたくさんあります。お子さんと一緒につくりたいものなどを想像しながら材料集めに協力してください。発想豊かな子どもになる第一歩です。

*作品を処理する

学校から持ち帰った作品は、家庭で飾ってあげてください。

